

京都市こころの健康づくりに関する意識調査 調査項目イメージ (案)

※ゴシック体は、今回新たに追加した設問及び、前回の内容から修正した設問。

※下線を引いた箇所は、京都市自殺総合対策連絡会・京都市精神保健福祉審議会で聴取した意見を踏まえて追加・修正した部分。

※今後、委託業者からの意見を反映し、調査票を作成する。

設問		備考
1 回答者属性		
(1)	性別	
(2)	年齢	
(3)	職業（雇用形態）	【想定している選択肢】 ①勤めている（常勤）②勤めている（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 等）③自営業（事業経営・個人商店など）④自由業（個人で自分の専門的知識や技術を生かした職業に従事）⑤専業主婦・主夫 <u>⑥無職（求職中）</u> ⑦（⑥以外）⑧学生 ⑨その他
(4)	住まい方（同居，一人暮らし）	
(5)	同居家族	
(6)	居住区	
2 生活習慣について		
(1)	睡眠の充実度	【修正】「睡眠時間」から「 睡眠充実度 」に修正。
(2)	飲酒頻度	
(3)	飲酒量	
(4)	アルコール問題に対する理解の状況	
(5)	普段の1週間の就業時間（残業・副業含む）	
3 こころの状態や暮らしぶり		
(1)	最近1カ月の悩み・ストレスの有無	【修正】「感情の種類」から「 悩み・ストレス有無 」に修正。
(2)	悩み・ストレスの内容	【想定している選択肢】 1 家庭問題 ①家族の不和（親子間）②家族の不和（夫婦間）③家族の不和（その他）④家族の死亡（自殺）⑤家族の死亡（その他）⑥家族の将来悲観 ⑦離婚 ⑧被虐待 ⑨DV ⑩子育て ⑪介護・看病疲れ 2 健康問題 ⑫身体疾患 ⑬精神疾患 ⑭障害 ⑮アルコール問題 ⑯薬物問題 3 経済・生活問題 ⑰倒産 ⑱事業不振 ⑲失業 ⑳就職失敗 ㉑生活苦 ㉒負債（多重債務，連帯保証債務，住宅ローン 等） ㉓ギャンブル 4 勤務問題 ㉔職場の人間関係 ㉕職場環境の変化（配置転換，昇進，降格，転職 等） ㉖休職 ㉗過労 ㉘職場のいじめ ㉙非正規雇用 5 パートナー間の問題 ㉚結婚 ㉛失恋 ㉜不倫 6 学校問題 ㉝進路（入試） ㉞進路（その他） ㉟学業不振 ㊱いじめ ㊲学内の人間関係（教師と） ㊳学内の人間関係（他生徒と） ㊴ひきこもり ㊵不登校 7 その他 ㊶犯罪被害 ㊷近隣関係 ㊸将来生活 ㊹性的マイノリティ ㊺居住環境の変化 ㊻その他
(3)	悩み・ストレスの対処方法	【想定している選択肢】 ①買い物 ②音楽 ③スポーツ ④食べる ⑤寝る ⑥会話・電話 ⑦お酒 ⑧タバコ ⑨ギャンブル ⑩ゲーム ⑪読書 ⑫旅行・ドライブ ⑬テレビ・映画・ラジオ ⑭インターネット・SNS ⑮専門機関への相談・受診 ⑯宗教関連 ⑰その他
(4)	現在の幸福感	
(5)	自己肯定感	
(6)	居場所の有無	
(7)	居場所の内容	【想定している選択肢】 ①自宅 ②学校 ③職場 ④福祉施設 ⑤居場所として運営されている施設（青少年活動センター，こころのふれあい交流サロン，健康長寿サロン，子育てサロン 等） ⑥インターネット空間（具体例： ） ⑦サークルやグループ活動の場 ⑧その他（具体例： ）
(8)	孤独感	
4 周囲の人たちや地域との関係		
(1)	不満・悩みの傾聴者	

(2)	物質的・金銭的支援者	
(3)	不満・悩み相談の抵抗感	
(4)	不満・悩み相談を受ける頻度	
(5)	不満・悩み相談を受ける相手	
(6)	不満・悩み相談相手になることへの積極度	
(7)	地域との関係	
5 相談窓口について		
(1)	悩み相談先の認知状況	【想定している選択肢】 ①保健福祉センター ②こころの健康増進センター ③いのちの電話 ④かかりつけの医療機関 ⑤各種メール相談 ⑥子供・若者総合相談窓口 ⑦青少年活動センター ⑧学内の相談室（スクールカウンセラー、大学相談室 等） ⑨地域包括支援センター ⑩その他（具体例： ） ⑪どこも知らない
(2)	相談窓口の利用意向（または、過去に利用したことがあるか）	
(3)	相談窓口を利用しない理由	
(4)	相談窓口を利用した満足度	
(5)	インターネット、SNS を活用した京都市のこころの相談窓口の啓発事業の認知状況	【想定している選択肢】 ①こころの健康増進センターのホームページ（ http://kyoto-kokoro.org/ ） ②フェイスブック「われらはゲートキーパーズ！！」（ https://www.facebook.com/kokorohotot/ ） ③LINE 公式アカウント「われらは京都市ゲートキーパーズ」 ④検索連動型広告（※ヤフー、グーグル、ツイッター上で、希死念慮をうかがえるキーワードをつぶやいた、または検索した方に対して、こころの相談に関する広告を表示し、相談機関への窓口へ誘導する事業。）
(6)	深刻な悩みを抱えた時に、京都市のこころの相談窓口の情報は入手しやすいと思うか	
(7)	相談先の把握方法	①ポスター ②パンフレット ③広報誌 ④インターネット検索 ⑤パネル ⑥ティッシュ等の啓発グッズ ⑦市役所・区役所の行政情報放映用モニター ⑧周囲からの紹介 ⑨その他（具体例： ）
6 自殺に関すること		
(1)	自殺したいと考えたことの有無	
(2)	最近1年の自殺意向	
(3)	自殺したいと考えた理由	
(4)	自殺を思いとどまった要因	
(5)	周囲の自殺者の有無	
(6)	自殺相談への対応方法	
(7)	自殺実態の認知状況	【修正】我が国の自殺者数を「2万5千人」を「2万人」に修正。
(8)	「自殺は個人の問題」という考え方への評価	
(9)	自殺対策の社会的取組に対する必要性	
(10)	自殺対策の社会的取組必要性の理由	
(11)	自殺についての考え方	
(12)	自殺報道への関心内容	
(13)	身近な人の「うつ病サイン」に気づいた時の診療相談の勧め	
(14)	「ゲートキーパー」の認知状況	
(15)	自分自身の「うつ病サイン」に気づいた時の診療相談意向	
(16)	上の問で「何も利用しない」と回答した理由	
(17)	産後うつ病についての理解の状況	
(18)	自殺対策のために必要と思う自分自身の取組	【修正】「自殺予防」から「自殺対策」に修正。
(19)	自殺対策に対する自由意見	